

令和2年度

事務事業評価表(令和元年度の実績評価)

記入年月日
令和2年4月17日

Table with columns for project name (真壁伝承館管理事業), fiscal year, and various administrative details like policy area (生涯学習・芸術文化活動の推進) and budget items.

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 main columns: ①事務事業の概要 (Overview of the project) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (Tasks and procedures). Includes details on staff, maintenance, and safety.

Table with 3 main sections: ①手段 (Methods), ②対象 (Targets), and ③意図 (Intentions). Each section includes specific indicators and target values for 30, 01, 02, 03, and 04 fiscal years.

Table for (3) 投入量(事業費)の推移 (Trends in input/expense). Shows financial breakdown by source (national, prefectural, local) and personnel (full-time staff).

Table for 事業費の内訳 (Breakdown of expenses). Compares actual expenses for 01 fiscal year with budgeted expenses for 02 fiscal year across various categories like salaries, travel, and materials.

事務事業名	真壁伝承館管理事業	事務事業No.	20203000635	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> 平成23年7月16日 竣工 平成23年9月1日 開館による運用開始 					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
令和元年7月～8月に図書館エアコンが冷却不能になったため、改善を要望する利用者の声があった。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 生涯学習活動・分館施設の充実に結びついている。
有効性	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域住民の生涯学習活動の場として必要である。
効率性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 利用率が低下していることから、今後、施設運用について見直しをする必要がある。
公平性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民の良好な学習の場所となっていることから、廃止、休止は市民活動に支障をきたす。
公平性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 桜川市は人口集中地域が少ないため、市民がある程度平等に生涯学習活動に参加するためにも、旧町村単位の生涯学習施設は必要と考えられる。
公平性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 行政専門員及び会計年度任用職員で基本的な管理を行っているため、これ以上の削減は難しい。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 条例に定める利用料金の設定および市内一律の減免基準による減免を行って貸出しており、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	開館して10年足らずだが、独特の構造・資材による維持管理のしにくさが目立ち、修繕が多い。 令和元年度は図書館のエアコンが動作不良となり、対策工事の必要がある。 外壁の木材部分は数年毎に再塗装が必要で、令和2年度は南側外壁塗装工事を予算化した。 これまで2年に1回の特殊建築物定期報告が必要だったが、次回からは3年に1回になる。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
来館者は平成26年度に19万人を超えたのをピークに徐々に減少しており、16万人を割ってしまった。 開館から8年以上を経過し施設に目新しさが無くなってきた他、公民館定期講座等の利用も参加者が固定化してきており、根本的な解決は難しい。 令和元年度は新型コロナウイルスの影響により3月はほぼ休館せざるを得ず、令和2年度についても施設利用再開は不透明な状況である。		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>